

## ヒューテックノオリンが神奈川県川崎市に 首都圏臨海エリアの基幹拠点となる冷凍物流拠点を開設予定

～2027 年 9 月予定で、単一施設としては収容規模最大の拠点～

SG ホールディングスグループにおいて、低温物流事業を担う株式会社 C&F ロジホールディングス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長執行役員:綾宏将、以下「C&F ロジ」)の主要な事業会社である株式会社ヒューテックノオリン(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:安喰徹)は、神奈川県川崎市川崎区に日本 GLP 株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:帖佐義之、以下「日本 GLP」)が開発を進める国内最大級の冷凍・冷蔵マルチテナント型物流施設「GLP 川崎 II」内に、単一施設として収容規模最大の冷凍物流拠点を開設します。開設は 2027 年 9 月を予定しています。



「GLP 川崎 II」施設外観イメージ

### ■背景

現在、ヒューテックノオリンは川崎市川崎区東扇島にて、主に冷凍食品の共同配送事業を提供しています。2002 年 4 月に東京臨海支店第一センターを開設して以来、保税蔵置場として輸入貨物の保管・荷役・通関手続きや、関東圏エリアへの配送拠点として拡張しながら、4 棟の冷凍倉庫にて低温物流サービスを提供してきました。

近年の冷凍食品の需要の高まりを受け、保管スペースは常に満庫状態に近く、外部の冷凍倉庫への再保管などオペレーションが煩雑になるケースもあることから、今後も高品質なコールドチェーンを維持するために、この度新たな物流拠点を開設することにしました。

### ■概要

- ・ 単一施設として最大規模で、1.5 倍の保管能力へ

本施設は、日本 GLP が川崎市川崎区扇町に開発を進める、日本最大級の冷凍・冷蔵マルチテナント型物流施

設である「GLP 川崎Ⅱ」のキーテナントとなる予定です。同施設西側のうち、1階から3階までの延床面積約38,600㎡を使用し、収容能力は約55,000tと、ヒューテックノオリンの単一施設としては収容規模最大となります。東扇島の施設と併せ、最大保管可能能力は従来の約1.5倍に増強されます。

・ **利便性が高く、環境にも配慮**

「GLP 川崎Ⅱ」は、立地が首都高速道路神奈川1号横羽線の浜川崎ICから約1.5km、神奈川6号川崎線の大師ICから約4.6kmと、都心への輸配送に最も適しています。またJR鶴見線昭和駅から徒歩約1分と通勤の利便性が高くドライバー不足が課題となる物流業にとって、雇用確保にもつながります。同施設にはテナントとして利用できるラウンジやレストラン、無人売店などが設置予定であり、従業員の労働環境の向上も期待できます。

また、環境面では、太陽光発電設備の設置や、全館LED照明の使用、冷凍機には自然冷媒を採用するなど自然環境への配慮がなされ、災害への対応としては免震構造が採用されています。

「GLP 川崎Ⅱ」は2025年3月に着工し、2027年9月に新拠点として開設する予定です。ヒューテックノオリンは今後もSGホールディングスグループの一員として、各々の強みを生かしたシナジーにより、国内屈指のコールドチェーンを構築してまいります。

<新拠点の概要(計画)>

名称	ヒューテックノオリン川崎扇町拠点(仮称)
所在地	神奈川県川崎市川崎区扇町15番地 GLP 川崎Ⅱ内
延床面積	約38,600㎡(賃貸区画のみ)
収容能力	約55,000t(賃貸区画のみ)
設備	移動ラック、垂直搬送機4基、貨物用EV2基、バース29基
開設	2027年9月(予定)

SGホールディングスグループは、純粋持株会社SGホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

<報道関係お問い合わせ先>

株式会社 C&F ロジホールディングス 広報部

tel:03-5291-8100 fax:03-5291-6150 mail:cf-ir@cflogi.co.jp